解　禁　日　時
テレビ・ラジオ・インターネットとも 平成２３年３月１８日（金） 審議会終了後 新聞 平成２３年３月１９日（土） 朝刊以降

資　料　提　供	
平成２３年３月　　日	
担　当　課 （担当者）	教育委員会文化財課 （文化財係　松本）
電話（内線）	文化財課：0857-26-7525

県内文化財建造物の国新規登録について

平成２３年３月１８日（金）に国の文化審議会（会長　西原鈴子）において、国登録有形文化財として下記の文化財の登録に係る答申が行われます。

※報道は文化審議会の終了後にお願いします。これまでは午後３時メドとし、変更のある場合のみ連絡するようにしておりましたが、今回は審議会終了後、文化庁から当課へ連絡が入り次第、解禁となります。解禁になり次第（午後４時メド）、ファクシミリでお知らせします。

なお、新聞報道は１９日の朝刊以降で変更ありません。

また、矢田貝家住宅所有者から、今回の登録について、コメントが出されましたので、添付します。

記

1　新規登録が答申される県内の文化財建造物

○飛龍閣（ひりゅうかく）（倉吉市）１件

○矢田貝家住宅（やたがいけじゅうたく）（伯耆町）主屋（しゅおく）、離れ、茶室、腰掛待合（こしかけまちあい）、土蔵、長屋門、庭門、中門（ちゅうもん）　８件

計　２所９件

2　文化財の特徴等

	名　称	所在の場所	特　　徴　　等	建設年代
1	飛龍閣	倉吉市	明治に行われた皇太子行啓（後の大正天皇）の宿泊所として、地元大工山田市平によって建てられた。 屋内には、御座所（ござしょ）のほか、寝殿、浴室、化粧室などが設けられた。現在は一部改修し、市有の集会所として使用されている。 同目的で建てられた仁風閣（重要文化財・鳥取市）が洋風であるのに対し、飛龍閣は和風建築で、洗練された意匠をもつ。	明治３７年建築/昭和３９年・平成２年・平成２０年改築
2	矢田貝家住宅 主屋 離れ 茶室 腰掛待合 中門 土蔵 長屋門 庭門	伯耆町	地主経営や醸造業を営んだ矢田貝家の住宅で、日野川右岸に位置する。昭和初期に宅地を拡大して庭園や付属屋を建設し、現在の屋敷構えが作られた。近年は主屋を蕎麦屋として活用している。 東面して立つ主屋はつし２階建（背の低い２階建）で、内部を土間と床上部に分け、二列六室とする。棟札から建築年代が明らかで、当地方の伝統的な民家形式をよく伝える。 主屋の南に接続する離れは、中廊下を挟んで座敷と茶室の二室からなり、前面に土庇をかける。茶室は解放的で、	主屋:嘉永７年（1854）/昭和前期改修・増築・昭和５９年・昭和６３年改修 離れ:昭和前期 茶室:昭和前期/昭和６３年改修 腰掛待合:昭和前期

			瀟洒な接客空間をつくる。 　観楓庵（かんぷうあん）と称される茶室は、昭和初期に建てられた。水屋を中心に設け、両側に茶室を２室並べる。床飾りに皮付材を用いるなど独特の意匠をもつ。 　腰掛待合は離れと待合を結ぶ露地に建ち、丸太を多用し、数寄屋風の意匠をみせる。 　中門は腰掛待合の正面に建ち、主庭と露地空間を区画する。丸太垂木や扉には網代を張り、数寄屋風の意匠とする。 　土蔵は敷地背面に建ち、二面に庇を設けて室内化する。腰高に下見板を張り、軒まで漆喰で塗り込めとする大型土蔵である。 　長屋門は主屋正面に建ち、敷地正面に格式ある構えを見せる。昭和初期に敷地内から現在地に移築した。 　庭門は、左右に下見板張りの塀をのばし、主庭と前庭とを分ける。 　以上のように、近世末期の当地方の伝統的な主屋を中心としながら、昭和初期に建築された一連の付属屋が残り、近代の風情豊かな屋敷構えを伝えている。	中門:昭和前期 土蔵:明治中期/昭和６３年、平成３年改修 長屋門:明治中期/昭和前期移築、平成６年改修 庭門:明治中期

３　今回、国で答申が行われる建造物の概要

	今回答申分		累　計
登　録　数	１９４件		８，５２５件
関係市町村	５９市町村（区）		７６１市町村（区）
関係都道府県	２７都道府県		４７都道府県
時代別登録件数	江戸以前	４７件	１，４５４件
	明治	６２件	２，７８１件
	大正	２２件	１，８３１件
	昭和	６３件	２，４５９件

４　鳥取県の状況

（１）鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後）

国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
（１５１） **１５４**	（１７） １１６	（１９） ２３９

（）内は建造物の数

（２）登録物件の所在する市町村の文化財件数（**今回登録後**）

	国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
倉吉市	（２６） ２７	（１） １７	（５） ３４
伯耆町	（８） ８	（０） １	（０） １

（　）内は建造物

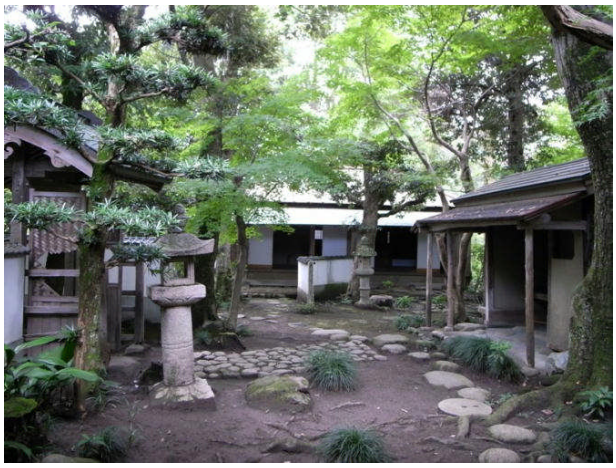
【参考：今回答申された建造物の写真】

飛龍閣

矢田貝家住宅主屋　外観

矢田貝家住宅主屋　座敷

矢田貝家住宅離れ　外観



矢田貝家住宅
左から中門、茶室（観楓庵）、腰掛待合

矢田貝家住宅茶室（観楓庵）　内部